

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

INDEX

01. 診療部長着任挨拶
02. 専門看護師による取り組み、患者さんの声について
03. 公開セミナーのご案内、公開セミナーを開催しました、7回アコンサート
04. 病院機能評価の受審結果について、臨床工学部の紹介、編集後記

診療部長着任挨拶



産婦人科
新美 茂樹

4 月から落合和彦診療部長の後任として引継ぎいたしました。すでに2010年から診療はしておりましたので、ご存知の方もいらっしゃるのではないかと思います。幸か不幸か産婦人科専門医・専攻医・レジデントと大幅に入れ替わりがありました。だんだん若返りを進めていくのかもしれませんが、至らないところは多々ありますが、やる気はあります。当科独自の診療としてはやはり分娩があります。悲喜こもごも人生の縮図といえ大袈裟ですが様々なドラマがあり、またハイリスクな場合もあります。婦人科、特に悪性腫瘍は集学的治療が求められる現況では、単独で様々な治療を行うことは不可能なため連携は切に必要であり、どうかよろしくお願ひいたします。今後は、前任の築き上げた体制を維持・発展させるとともに、葛飾近隣の医療機関からの紹介の重要性は認識しており、かつ地域に密着した基幹病院として医療を提供していく所存です。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。



病院病理部
原田 徹

酒 田昭彦教授の退任に伴い、葛飾医療センター病院病理部診療部長として4月から着任しております。“青戸”の地は、入局2年目の平成4年以来、実に25年ぶりの勤務となります。“青戸病院”というと、かつて活躍された河上・羽野両先生方から、病理解剖における数々の逸話を聞かされ、『青戸=剖検』という印象が今も強く残っています。私にとって新しい病院は新鮮である反面、右も左もわからず途惑うことも多くありますが、臨床各科と密な連携を執り、地域に密着した質の高い医療を提供できるよう努力してゆく所存です。今回の異動で病理部の医師は3名全員が新任ということとなりましたが、いずれも実直な医師が揃っております。敷居の低い病理部を実現するとともに、診断業務のみならず、剖検体数の復活にも尽力していきたいと思っておりますので、今後ご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

専門看護師による取り組み

がん看護専門看護師

専門看護師は、水準の高い看護ケアを提供するために、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師です。がん看護専門看護師は、がん患者さんの身体的・精神的・社会的な苦痛を理解し、患者さん、ご家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する役割を担っています。



がん看護相談外来:月曜日～土曜日 9:00～16:00 予約制

がん告知に伴う不安、治療選択の迷い、身体的苦痛症状や生活上の困りごとに対し、がん看護領域の認定看護師と共に相談に応じています。当院通院中の、患者さん、ご家族ならどなたでも相談ができます。ご家族のみの相談にも応じています。相談希望の方は、看護師にお声かけください。

訪問看護ステーションとの連携

在宅で療養しているがん患者さんのケア全般に関することに対し、電話での相談を受け付けています。

(小島 順子)



「患者さんの声」について

業務課:北里景子

当医療センターでは、皆さまからのご意見やご感想を受け付けるご意見箱を院内に設置しております。

皆さまの声を今後の病院運営の参考にさせていただき、より良い医療の提供に努めたいと存じます。また、皆さまからの貴重なご意見に対しての回答を病院ホームページならびに、1階正面玄関脇のご意見箱付近の掲示板に回答掲示をしております。

過去の「患者さんの声」

●ご意見（平成29年1月）

総合案内に設置されているパソコン画面の内容が、カウンターの外側から見えます。



回答

貴重なご意見ありがとうございます。

パソコン画面の内容が、カウンターの外側から見えないように、のぞき見防止フィルターにて早急に対応致します。

(同月対応済み)

●ご意見（平成29年2月）

携帯電話の使用可能エリアを決めてもらいたい。



回答

携帯電話使用可能エリアは下記のように定めております。

- 携帯電源OFFエリア…
診察室、手術室、ICU、検査室、治療室等
- 通話禁止エリア（※メール、web可、マナーモードにして下さい）…
食堂、待合室、廊下、多人数病室
- 通話可能エリア…
1階風除室、公衆電話付近、1・2・3階エレベータホール、各病棟エレベータホール、個室病室

なお、ご不明な場合には、お近くの職員までお尋ねください。

公開セミナーのご案内

参加費 無料

定員

先着150名

テーマ **よく歩けていますか？** ～いつまでもイキイキとした生活を～

日時 平成29年6月10日(土) ●14:00～15:30(13:00開場、整理券配布開始)

会場 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 5階講堂

司会 総合内科 診療部長 根本昌実

演者・演題 ①整形外科 診療部長 窪田誠 ②リハビリテーション科 理学療法士 緒方雄介
足の痛みについて 自宅で簡単に運動不足を解消しよう
～体力チェックと自分に合った運動の実践～

後援：(一社)葛飾区医師会 後援・協賛：葛飾区、東京慈恵会医科大学同窓会

公開セミナーを開催しました

平成29年2月18日(土)に当医療センター5階講堂にて、第45回葛飾医療センター公開セミナー「加齢黄斑変性」が開催されました。第1部、眼科の林孝彰医師から「加齢黄斑変性のすべて！視力低下を引き起こす怖い病気」、続いて第2部では視能訓練士の早乙女慶輔による「眼科でどんな検査をするの？」の演題でお話を頂きました。参加者も153名と多くの方に参加頂け大変有意義な時間になったと考えています。

葛飾医療センター フロアコンサート開催について



葛飾医療センターでは、患者サービス向上の一環および患者さんの癒しを目的として、フロアコンサートを年数回、開催しております。

今回、当医療センター、リニューアル後、第7回目として、平成29年2月18日(土)に、本学研修医および医学生他有志による弦楽4重奏による演奏をしていただきました。

演奏も大変素晴らしく、映画「君の名は。」のテーマ曲や「上を向いて歩こう」などの親しみやすい曲や、「カノン」などのクラシックも織り交ぜ、和やかな雰囲気の中、コンサートを終えることができました。

今後もこのようなイベントを通して、患者サービスに努めてまいります。



病院機能評価の受審結果について

葛飾医療センターでは、2月6日、7日に日本医療機能評価機構による病院機能評価を初めて受審しました。病院機能評価は、病院の質改善を目的として日本医療機能評価機構が実施する審査で、その審査範囲は80項目以上になります。当センターでも、サーベイヤー（評価調査者）による面接調査、書類審査、部署訪問を通じて広範囲に渡る審査が実施されました。

病院機能評価の受審にあたり、1年ほど前から準備委員会を組織し、精力的な活動を展開した結果、受審日の最後に行われた講評では、サーベイヤーから高い評価を得ることが出来ました。5月12日に評価機構より認定の連絡が届きました。



審査開始前の会場



サーベイヤーによる書類審査

臨床工学部の紹介



臨床工学部
石井技師長

病院では様々な医療機器を使用しています。ピカピカ光って動いていますが、たまに赤く光って音が鳴ったりします。医療機器は安全に使われているのでしょうか。

慈恵医大葛飾医療センターの診療支援部門の1つ、臨床工学部について紹介いたします。

医療機器が安全に使用されていることがわかり、ご安心いただけます。

医療の進歩と共に病院内で使用する医療機器は、より高度に複雑化していることから、医療機器の安全の向上は社会的に求められています。

臨床工学部は、臨床工学技士10名で構成されています。臨床工学技士は、医療機器のスペシャリストであり医療国家資格です。臨床工学部では、医療機器の操作や保守点検を行います。また、医療機器の使用方法やトラブル対策などの研修を医師や看護師、医療スタッフに対して行います。

平成28年度では、透析装置の操作件数は12,716件、医療機器の定期点検は663件、医療機器の研修会は91回開催して参加延べ人数は691名でした。

臨床工学部は、医療機器の操作、保守管理、医療機器の研修を担うことで、治療環境の安全・安心に貢献いたします。



編集後記

新年度を迎え、気持ちを新たに生活のスタートをきった方もいらっしゃるかと存じます。

葛飾医療センターも開院から5年が経過いたしました。既定のビジョン・コンセプトを院内に再周知し、地域密着型の病院として皆様のご期待に沿えるよう今後も精進してまいります。